

公共事業の効果等について

資料4 - 1

県営経営体育成基盤整備事業（大授搦・大搦地区）

【農地整備課】

資料4 - 2

森林基盤整備交付金事業（陣の山線）

【森林整備課】

資料4 - 3

県営海岸保全施設整備事業（伊福海岸）

【河川砂防課】



## 公共事業の効果等について

### 【事業名、地区名、事業概要】

事業名： 県営経営体育成基盤整備事業

路線名又は箇所名： 大授搦・大搦地区

事業の概要

工 期： 平成 18 年度～平成 26 年度

事 業 費： 1,577,509 千円

事業内容： 用排水路工 L=54,567m

揚水機 27 ヶ所

暗渠排水工 A=187.4ha

### 【公共事業の効果等】

農地の排水条件の改善に伴う高収益作物の作付面積の増。

乾田化により大型機械の導入が可能となり、農作業の効率が向上。

○上記により優良農地となったことから、担い手農家への農地集積が促進。

### 【事業実施前の状況等】

○既存の農業用排水施設及び暗渠排水施設の劣化により乾田化が図れず、高収益作物の作付け促進を阻害していた。

○水田の排水機能低下に伴い、降雨後の農作業に支障をきたしている。

○上記による長期的な営農への不安から、担い手への農地の集積が進まなかった。

### 【事業実施後の状況や県民の声など】

○農地の排水条件が改善し、乾田化が図られたことから、高収益作物の作付面積が増加した。

○農地の生産性・作業効率性が向上したことに伴い、担い手農家への農地集積が進んだ。

(農家の声)

○用排水路整備により法面崩壊が防止され、水路への泥土堆積が大幅に減少したことにより、維持管理にかかる労力が減少した。

○暗渠排水の整備により乾田化が図られ、生産条件が改善されたことはもとより、高収益作物の作付面積が増えた。

○農地の生産性、作業効率性が向上したため、大規模農家への農地集積が進んだ。



# 公共事業に係る効果等について

## 県営経営体育成基盤整備事業事業

### 大授搦・大搦地区

(農林水産部農地整備課)

#### 1-1. 事業概要

❖ 機能低下した農業生産基盤の再整備を行い、  
優良農地の維持・保全及び経営体の育成を図る。

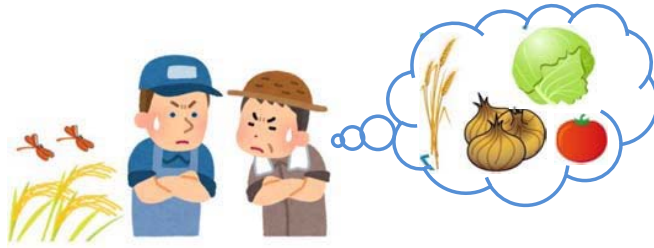
- ◆ 事業名: 県営経営体育成基盤整備事業
- ◆ 地区名: 大授搦・大搦地区
- ◆ 工期: 平成18年度～平成26年度
- ◆ 事業費: 1,577,509千円
- ◆ 負担割合: 国50%、県32.5%、  
地元(市町・農家)17.5%
- ◆ 事業内容: 用排水路工 L=54,567m  
揚水機 27ヶ所  
暗渠排水工 A=187.4ha
- ◆ 受益面積: 329.2ha
- ◆ 関係市町: 佐賀市



## 2-1. 事業の背景と目的

本地区では、昭和41年～47年にかけてほ場整備事業が実施され、農業用排水施設及び暗渠排水施設を設置したが、地盤沈下による不陸や波風による法面浸食の影響で、用水路(パイプライン)接続部からの漏水や暗渠排水の逆勾配、用排水路への泥土堆積が発生し、転作作物や高収益作物の作付け促進を阻害していた。

このため、農業用排水施設及び暗渠排水施設を再整備することにより、水田の汎用化による農用地の高度利用、優良農地の将来にわたる適切な維持・保全及び経営体の育成を図ることとした。



## 3-1. 事業内容

### 用排水路

長年受ける波風の影響により水路法面が浸食され、水路内に泥土が堆積し、維持管理に多大な労力を要している。このため、水路ライニングを行うことによって水路断面の確保、維持管理の省力化を図る。



用排水路の法面崩壊、泥土堆積状況

### 用水路(パイプライン)

地盤沈下によるつなぎ目のずれから漏水を繰り返し、末端ほ場までの送水に時間を要している。また漏水補修に多額の費用を費やしているため、新たな用水路(パイプライン)の設置を行う。



用水路(パイプライン)からの漏水状況

## 3-2. 事業内容

### 用水機場

施設の老朽化が進行し、維持管理に多額の費用を要している。また、既存の施設は横型ポンプ・水槽自然圧送式であるため、呼び水に時間を要している。このため縦型ポンプ・加圧式の施設に更新することで、維持管理費の削減及び農作業の効率化を図る。



老朽化した用水機場

### 暗渠排水

地盤沈下による不陸、逆勾配が発生し、既存の暗渠内に泥土が堆積したことなどにより排水機能が著しく低下している。このため、新たに暗渠排水を設置することで、乾田化を図る。



降雨後24時間後の状況

## 4-1. 整備状況

### 用排水路工（コンクリート柵渠）

整備前



整備後



### 用排水路工（土留板柵）

整備前

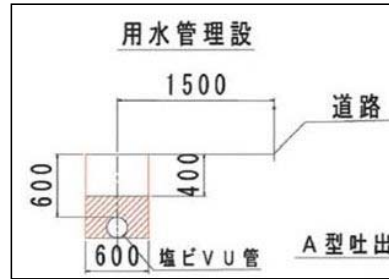
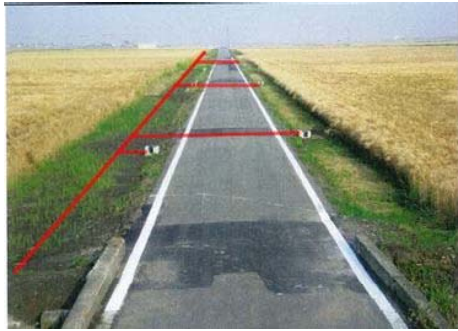


整備後



## 4-2. 整備状況

### 用水路工 (パイプライン)



### 揚水機場

#### 整備前(自然流下方式)



吐水槽

圧送ポンプ

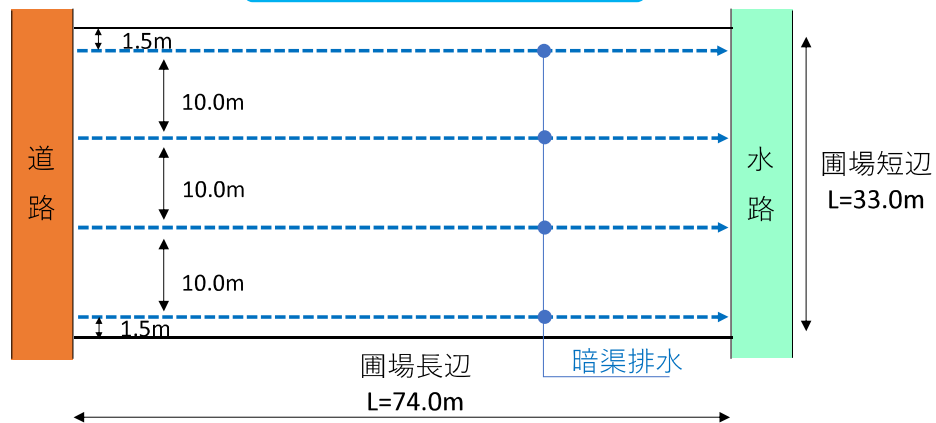
#### 整備後(ポンプ圧力方式)



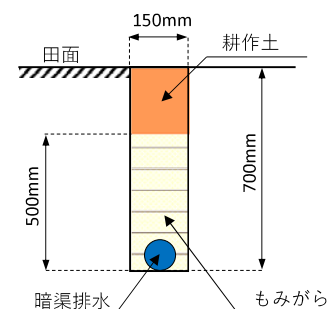
## 4-3. 整備状況

### 暗渠排水工

配置図



断面図





## 5-1. 事業効果

### 主な高収益作物の作付け状況

時点	H17現況		R2現況	
	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)
タマネギ	6.4	1.1	10.4	1.8
イチゴ	5.1	0.9	4.0	0.7
アスパラガス	0.9	0.1	0.8	0.1
トマト	0	0	0.8	0.1
合計	12.4	2.1	16.0	2.7

暗渠排水工、用排水路工の整備に伴い、水田の汎用化が図られ、高収益作物の作付けが増加した。



タマネギ



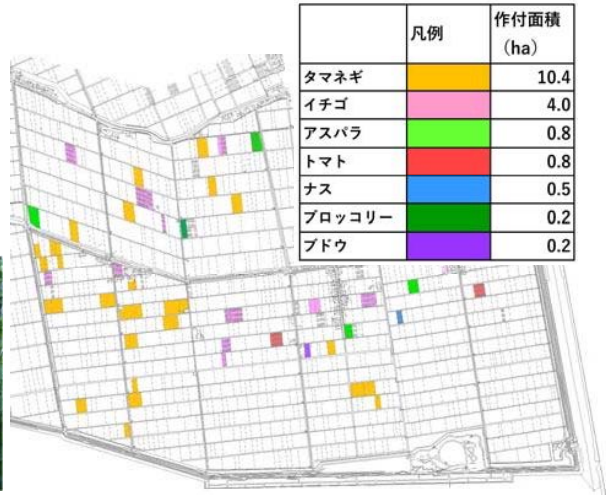
イチゴ(いちごさん)



アスパラガス



トマト(ソプラノトマト)



## 5-2. 事業効果

### 担い手への農地集積率

事業を契機に、担い手への農地集積が加速化！

項目	地区農地面積 (ha)	担い手経営面積 (ha)	集積率 (%)
事業実施前 (H18)	329.2	129.4	39.3%
事業完了時 (H26)	329.2	266.8	81.0%

### 担い手への農地集積率

事業実施前 → 事業完了後

39.3%

81.0%

41.7%増

農地の生産性・作業効率性が向上したことに伴い、担い手農家への農地集積が進んだ。

## 6-1. 農家の声



○用排水路整備により法面崩壊が防止され、水路への  
泥土堆積が大幅に減少したことにより、維持管理にか  
かる労力が減少した。

○暗渠排水の整備により乾田化が図られ、生産条件が  
改善されたことはもとより、高収益作物の作付け面積が  
増えた。

○農地の生産性、作業効率性が向上したため、大規模  
農家への農地集積が進んだ。



## 公共事業の効果等について

### 【事業名、地区名、事業概要】

事業名： 森林基盤整備交付金事業（道整備交付金）

路線名又は箇所名：陣の山線

事業の概要

工 期：平成 10 年度～平成 26 年度

事 業 費：2,196,276 千円

事業内容：林道開設 L=8,519m

- 計画路線の利用区域面積 325ha のうち、人工林が 215ha（66%）を占めており、当該地域の適切な森林整備を推進するため、森林管理道（L = 8,519m）を開設した。

### 【公共事業の効果等】

事業開始より令和元年度までの期間、当該林道の利用区域内における間伐等の森林整備実績は計画 78ha に対し、延べ約 70ha に上る。高性能林業機械を活用した木材生産や、林道沿線をモデル的に間伐して展示林として活用する等の取組が行われた。

適切な森林整備の実施により森林内に下草等が繁茂し、土砂流出防止など、森林の水土保持機能が増大している。

- 森林内に日光が差し込み、多様な植物が林床に発生しており、森林の階層構造の発達がみられる。
- 当該林道は、市道 城黒岩線及び林道 三方山線と連絡しており、災害時の迂回路としての機能を有している。

### 【事業実施前の状況等】

現地は唐津市相知町の北部に位置する伊岐佐地区・黒岩地区・大野地区の集落及び一級河川松浦川の上流に位置しており、公益的機能の発揮が求められる森林であるが、林内へのアクセスが困難であったため、森林整備が進まず、荒廃森林の増加が懸念されたことから、林道事業計画について地元より要望がなされた。

### 【事業実施後の状況や県民の声など】

- 高性能林業機械を導入し、伐採・搬出作業を実施した。
- 車での往来が容易となり森林整備作業等の利便性が大変向上した。

### 【今後の取組】

唐津市や林業事業者との連携による更なる森林整備の普及啓発、森林環境譲与税等を活用した間伐等の実施、森林施業の集約化や森林作業道整備による搬出間伐等の促進等の取組により、森林所有者への収益還元や森林の有する公益性の維持・増進を図る。



# 公共事業に係る効果等について

## 森林基盤整備交付金事業

(道整備交付金)

陣の山線

(森林整備課)



### 事業概要

事業名 : 森林基盤整備交付金事業  
(道整備交付金)

路線名 : 陣の山線

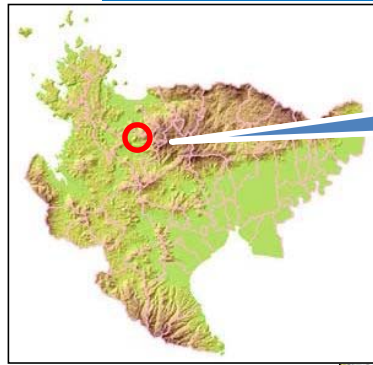
所在地 : 唐津市相知町大野・黒岩・伊岐佐

工期 : 平成10年度～平成26年度

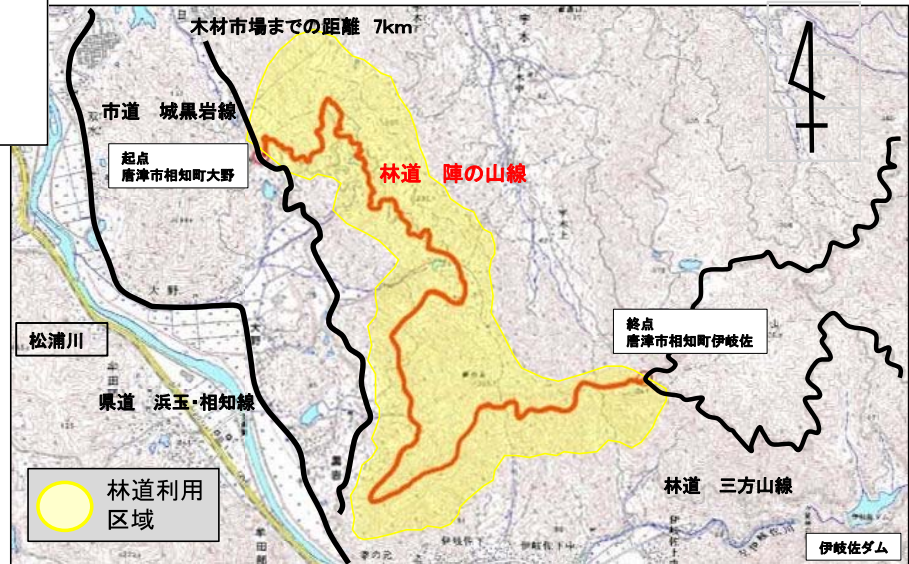
事業費 : 21億96百万円

事業内容: 林道開設 L=8, 519m

## 事業位置図

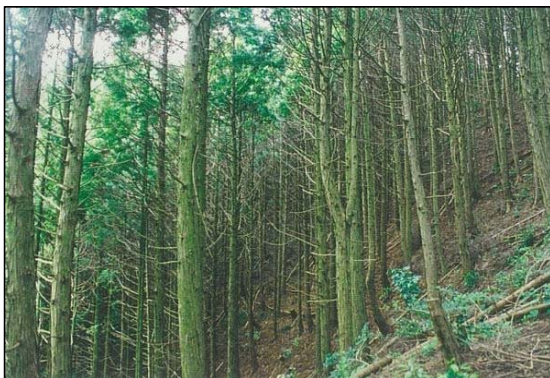


唐津市相知町  
伊岐佐・黒岩・大野



## 背景と目的①

- 現地は唐津市相知町の北部に位置する伊岐佐地区・黒岩地区・大野地区の集落及び一級河川松浦川の上流に位置しており、水源の涵養など公益的機能の発揮が求められる森林である。
- しかし、森林内へのアクセスが困難であったため、森林整備が進まず、荒廃森林の増加が懸念されたことから、林道事業計画について地元より要望がなされた。



(伊岐佐地区)



(黒岩地区)

要望時の森林内の状況

## 背景と目的②

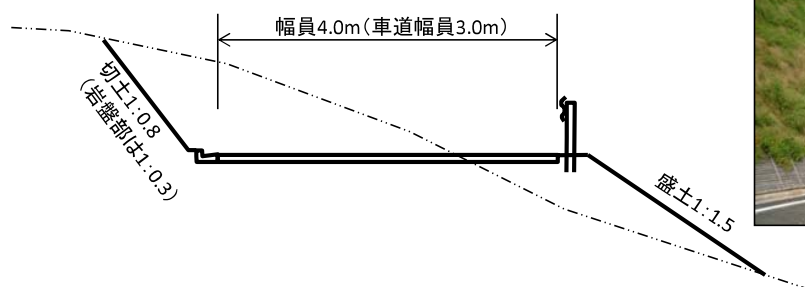
- 計画路線の周辺森林は、スギやヒノキなどの人工林の割合が約7割と高く、適切な森林整備を推進するため、森林管理道(L=8,519m)を開設する。
- 林道開設により間伐等の森林整備作業が推進され、木材の生産経費の削減や森林の持つ公益的機能が高度に発揮されるとともに、労力の軽減と移動時間の短縮が図られる。



## 事業内容

開設延長: 8,519m  
林道区分: 森林管理道(自動車道2級)  
幅員: 4.0m(車道幅員3.0m)  
設計速度: 30km/h  
利用区域: 325ha(うち人工林215ha)

【標準断面図】



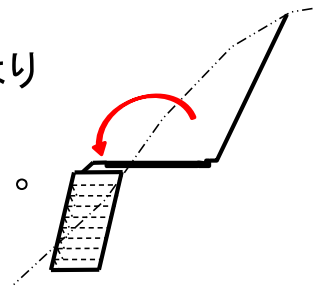
## 整備状況①



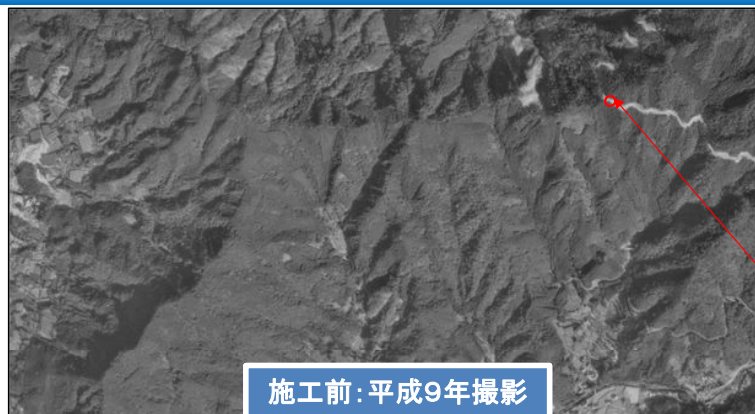
切土法面への丸太伏工により、視距を確保するとともに木材利用を積極的に推進した。



補強土壁により掘削土砂を有効利用した。



## 整備状況②



施工前:平成9年撮影



施工後:平成28年撮影

起点方向

終点





## 事業効果③

高性能林業機械等を用いた木材生産



出材量:約2,100m<sup>3</sup>(推計)

林道沿線を間伐しモデル展示林として活用



## 事業効果④

- 適切な森林整備の実施により、森林内に下草等が繁茂し、土砂流出防止など、森林の水土保持機能が增大している。
- 森林内に日光が差し込み、様々な植物が林床に発達することで、小動物や鳥類など生物の多様性がみられる。
- 当該林道は、市道 城黒岩線及び林道 三方山線と連絡しており、災害時の迂回路としての機能を有している。

下層植生の繁茂状況



## 県民の声

- ・「高性能林業機械を利用し、伐採・搬出作業を実施できた。」
- ・「車での往来が容易となり森林整備作業等の利便性が大変向上した。」



## 今後の取組

- 唐津市や林業事業者との連携による更なる森林整備の普及啓発
- 森林環境譲与税等を活用した荒廃森林の間伐等の実施
- 森林施業の集約化や適切な配置の森林作業道整備を推進し、搬出間伐等を促進



- 森林所有者への収益還元
- 森林の有する公益性の維持・増進





## 公共事業の効果等について

### 【事業名、地区名、事業概要】

事業名：伊福海岸県営海岸保全施設整備事業

路線名又は箇所名：伊福海岸

事業の概要

工期：平成 21 年度～平成 25 年度（平成 26 年度完了）

事業費：442,615 千円

事業内容：護岸工、消波工 L=540m

### 【公共事業の効果等】

護岸の嵩上げや消波工を設置したことにより、高潮や越波による被害が発生していないことから事業の直接的効果が発現している。

背後地の国道 207 号（第一次緊急輸送道路）の通行規制（全面通行止め）が発生していないことから、地域の社会・経済活動に貢献している。

### 【事業実施前の状況等】

- 台風による高潮並びに波浪で背後地への越波被害が発生し、家屋や道路交通への支障が生じていた。
- このため、背後地への高潮、波浪被害を防止し、住民の生命・財産を守るために、平成 21 年から海岸事業の高潮対策として既設護岸の嵩上げと消波ブロック設置工事に着手した。

### 【事業実施後の状況や県民の声など】

- 実施後は令和 2 年台風 9 号の接近により、竜王観測所（白石町）で T.P+3.53m の潮位（大潮の満潮潮位が T.P+2.66m）を観測したが、越波被害や通行規制は発生しておらず、地元から海岸事業に対して助かっているとの感謝の声が挙がっている。



# 公共事業に係る効果等について

## 県営海岸保全施設整備事業

### 伊福海岸

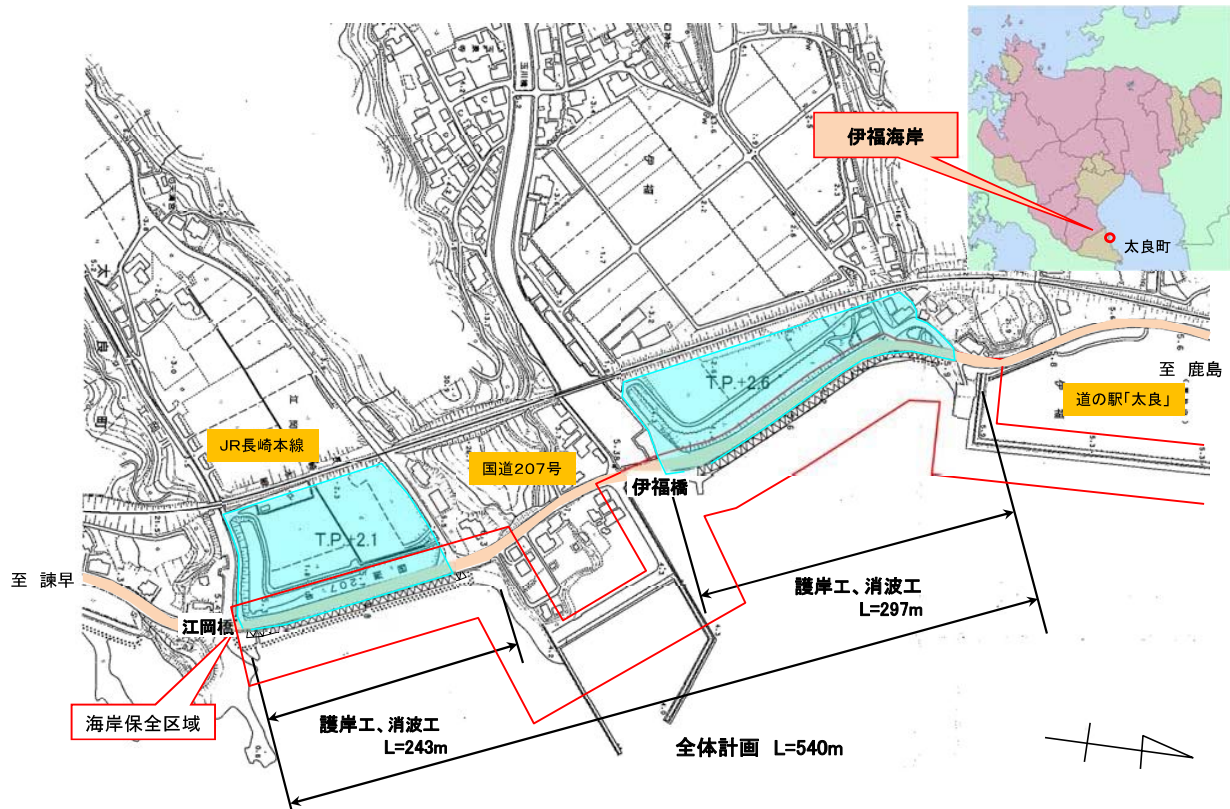
(河川砂防課)

#### ①事業概要

- 県営海岸保全施設整備事業は高潮や侵食等から背後地の住民の生命・財産を守るため、建設海岸の海岸保全施設の整備を行う。
- 伊福海岸は高潮対策として既設護岸の嵩上げ及び消波ブロックの設置を行った。

・沿岸名	有明海
・地区名	伊福海岸
・事業期間	平成21年度～平成25年度(平成26年度完了)
・全体事業費	C=442,615千円
・事業概要	護岸工、消波工 L=540m

## ②事業位置図



## ③背景と目的

伊福海岸における平成11年度～平成20年度(10年)の災害発生回数

○ 伊福海岸は過去、高潮や越波による被害が度々、発生しており、これらの被害を防止し、住民の生命や財産を守るため、護岸の嵩上げや消波ブロックによる護岸整備を行うものである。

	公共 災害 10年	一般 災害 10年	家屋 10年	浸水 10年	越波 10年	通行 止め 10年
集計	0	0	1	0	12	2
発生件数						
平成11年度	0	0	0	0	2	0
平成12年度	0	0	0	0	0	0
平成13年度	0	0	0	0	0	0
平成14年度	0	0	0	0	0	0
平成15年度	0	0	0	0	2	0
平成16年度	0	0	0	0	4	1
平成17年度	0	0	0	0	1	0
平成18年度	0	0	1	0	1	1
平成19年度	0	0	0	0	2	0
平成20年度	0	0	0	0	0	0

越波状況写真



江岡橋方面 平成17年 台風14号

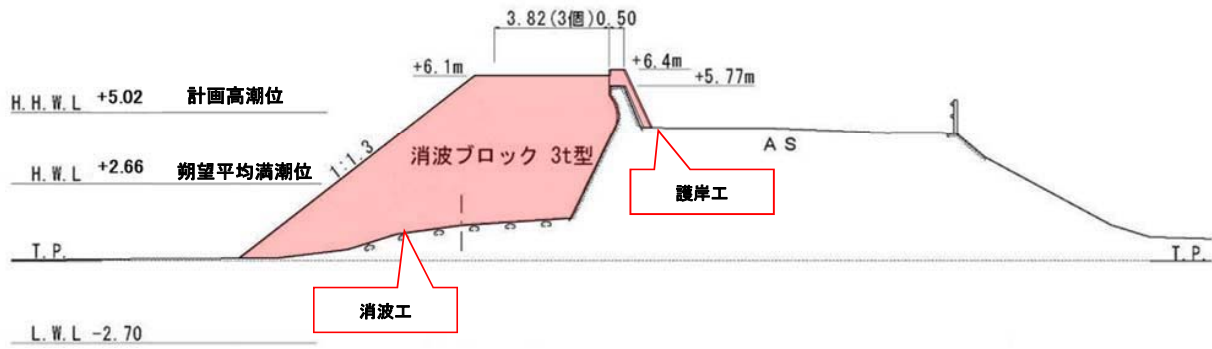


伊福橋 平成17年 台風14号



## ④事業内容

標準断面図



## ⑤整備状況

事業実施前



伊福橋から鹿島市方面

事業実施後



伊福橋から鹿島市方面



江岡橋・諫早方面

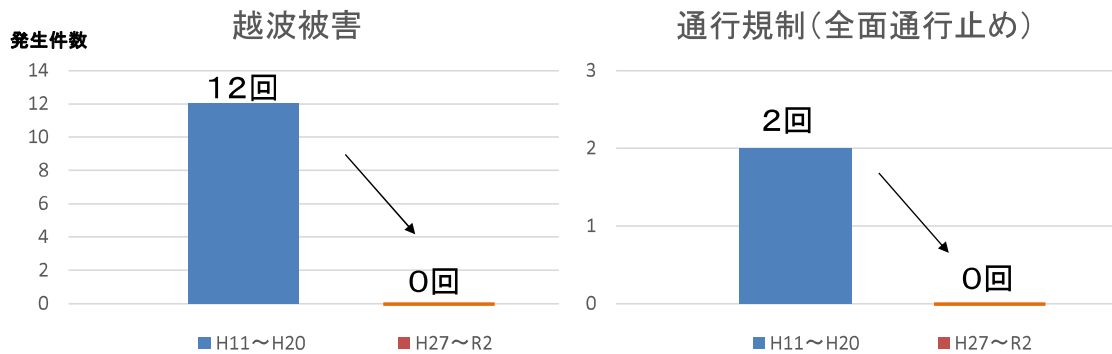


江岡橋・諫早方面

## ⑥事業効果—1

○ 高潮や越波による被害は発生しておらず、事業の直接的な効果を発現している。

○ 背後地を通る国道207号(第1次緊急輸送道路)の通行規制(全面通行止め)が発生していないことから、地域の社会・経済活動に貢献している。



## ⑥事業効果—2

○ 対策完了後は、通行止めを行った過去の台風以上の規模でも越波による被害は確認されていない。

竜王観測所(白石町)

年度	平成16年	令和2年
台風	台風16号	台風9号
最大風速	18.2m/s	19.4m/s
潮位	2.70m	3.53m
通行規制	全面通行止	規制なし
規制時間	3時間	—

## ⑦県民の声

○ 以前は台風時の高波が怖かったが、完了後は安心して暮らすことができ、整備してもらって助かったと感謝の声が挙がっている。